現在は両方の肩を同時に１秒間マットに付けるとフォールとなるが、当時は瞬間でも同時に両肩をマットに付けるとフォールになった。

四角のマットの体面に副審が座っていた。決まった？・・とは副審の目の前だったので、副審はサット手を挙げた（フォールの合図）主審は新潟高校・中央大学のＯＢで、オリンピックの国内予選で２位でオリンピックには出場出来なかった。（１位の選手は金メダル獲得）。卒業後は新潟市の本間組に勤務して、新潟県レスリング協会の重鎮。

主審が立っている位置からは良く確認出来なかったと思われるが、目の前で確認している副審がフォールの合図をしているのである。

しかし、主審の渡辺レフリーは認めなかった。
最終的には体力で劣る僕の判定負けとなって、市工の全国大会初出場の夢は消え去った。
内山キャプテンはもちろん、他校のキャプテンも抗議したが認められなかった。

そもそも、対戦校のＯＢがレフリーをすること自体が納得できなかった。
内山君は松浜弁丸出しで口は悪かったが、根は優しい男だった。

僕も遠からずあの世とやらへ行くと思うが、また悔しかった試合の話を肴にして、酒を酌み交わしたいなぁーーー。